土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　その他河川　東川　砂防事業に伴う設計業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor.No.3	**調査位置**	広島県竹原市福田町　地内			**北緯**	34° 20′ 42.7706″
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所			**調査期間**	2023年　7月 14日 ～ 2023年　7月 19日	**東経**	132° 57′ 30.4881″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 27.90m	**角度**	180°上下 90° 0° 0°	**方位**	北 0° 270°西 90°東 180°南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 0°
総削孔長	7.00m	**使用機種**		**試錐機**	東邦地下工機　DO-C		
				エンジン	ヤンマー　NFD-12	**ポンプ**	東邦地下工機　BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
	27.75	0.15		砂		褐			新生代第四紀	耕土に相当する。中粗砂からなる。	
	27.10	0.80		玉石混じり砂質シルト		暗褐				玉石流堆積物に相当する。玉石分はL=14～16cmで採取。その他の礫は細礫を主体とする。土分は有機質な砂質シルトからなる。砂分は細砂からなる。GL-0.60mから全湧水する。	07/18 7:00
1				玉石混じり砂礫		淡灰褐	rd1			玉石流堆積物に相当する。玉石分はL=6～27cmで採取。20cm弱のものが多い。マトリクスはマサ土質な中砂が優勢する。前区間と異なり、有機質土の混入はほぼ認めない。1mの貫入試料は高含水。試料はほぼ全量礫から構成され、貫入量に比べ採取量が少ない。マトリクス部が落下した可能性が高い。2m、3mの貫入試験、礫打ちであることは明らかである。GL-2.00mから全湧水する。	
2											
3	24.80	3.10									
	24.55	3.35		風化花崗岩		淡桃白灰			中生代白亜紀		
4				花崗岩		淡桃白灰				岩片～短柱状コア。風化程度は弱く硬質である。【CL級岩盤、軟岩IIに相当】	
	23.15	4.75									
5				花崗岩		淡桃白灰				L=10～20cm弱の短柱状コアが主体。岩片は概ね新鮮で硬い。割れ目は低角度のものが多い。割れ目沿いの風化は弱く、明確な劣化は認めない。【CM級岩盤、軟岩IIに相当する】	
6	21.55	6.35									
	20.90	7.00		花崗岩		淡桃白灰					
7											
8										L=20～30cmの柱状コア主体（最大45cm）。岩片は新鮮で硬い。割れ目は低角度で、明確な劣化は認めない。ただし、割れ目の面は少し鋭さに欠け、丸みを帯びた感がある。【CH級岩盤、中硬岩に相当する】	
9											
10										割れ目がやや発達し、コア長はL=10～15cmとなる。風化程度、岩片の硬さに明瞭な変化は認めない。割れ目には低角度のものと45～60°のものがある。【CM級岩盤、軟岩IIに相当する】	
11											

| 標準貫入試験 | | | | | | | | | | |